

ひみのふくし

10
2024 Oct
No.434

企画・発行

社会福祉法人 氷見市社会福祉協議会

〒935-0025 富山県氷見市鞍川975

TEL 0766-74-8407

<http://www.himi-shakyo.jp>

この広報誌は皆さんからの会費、
共同募金の助成金により発行
されています。



小学4・5・6年生
集まれ〜!

親子で介護体験 in 氷見

介護のお仕事を

みて、きいて、やってみよう!

たくさんの出会いと発見があるかも!



日時 令和6年10月26日(土) 9:00~12:00

集合場所 氷見市いきいき元気館

活動場所 NPO法人ヒューマックス

- グループホーム 島尾の家(氷見市島尾599)
 - グループホーム 堀田の家(氷見市堀田465-3)
- 希望する事業所をお選びください。

対象 小学校4・5・6年生とその保護者

定員 親子15組(原則、お子さま1名につき保護者1名)

- 内容**
- 施設の中を見てみよう!
 - 利用者の方と「わくわく工作」
 - 車いすに「乗る」「押す」体験
 - 働く人の声を聞こう! etc...

申込方法 氷見市ボランティア総合センター(氷見市中央町12-21)への来館
又は 電話(74-1800)

参加してね!
待ってます!

グループホームは高齢者の方が生活
する施設です。家庭的であたたかい
雰囲気の特徴です。

**募集
締切** 令和6年
10月15日(火)



利用者さんと楽しくおしゃべり!



堀田の家の職員の方々

待ってるね〜



♡CONTENTS♡

- ◆親子で介護体験 in 氷見 …1ページ
- ◆災害時に生きる日頃の福祉活動を目指して ~明和地区の取り組み~ …2ページ
- ◆中高生 真夏の挑戦 ボランティア・チャレンジ・プログラム V.C.P 活動レポート …3ページ
- ◆赤い羽根共同募金運動が始まります! ◆ホッとおしゃべりサロン ◆各種お知らせ…4ページ

災害時に生きる日頃の福祉活動を目指して

～ 明和地区の取り組み ～

明和地区では、氷見市から依頼を受け、明和地区社会福祉協議会（以下、地区社協）が中心となり、高齢者や障害者など支援を必要とする人たち一人ひとりの状況に合わせた、災害時に備える個別避難計画（以下、「計画」）を作成しました。この計画では、災害時に避難行動要支援者（以下、「要支援者」※1）に対して地域ができる支援をより明確化し、併せて日頃の見守りや声掛けを行うケアネット活動※2の見直しや再構築を行うことにも重点を置いています。



計画作成の進捗を話し合う
各地区の民生委員とサポーター

計画を作ることで分かった地域の課題

計画は、民生委員児童委員（以下、民生委員）と地域福祉活動サポーター（以下、サポーター）が計84軒の要支援者宅を1軒ずつ訪問し作成しました。要支援者は、1月の能登半島地震を経験しているため、計画作成に関して前向きな反応でした。一方で、要支援者や支援

者からは「自然災害の種類によって避難場所が分からない」や「人口減少や高齢化が進み、支援者が限られる」などの課題が出てきました。

計画作成に携わった2人の地区役員からそれぞれの思いを聞きました。



明和地域づくり協議会会長
明和地区自主防災会会長

堂尻 繁さん



1月の地震では、発災直後から各地区の自治会長が中心となり、避難者への対応や防災備蓄品の配布に動きました。また、自治会長が班長に依頼し、全戸の安否確認を行った地区もありました。計画作成では自治会として災害時に必要な情報収集が不十分であった世帯に対して、民生委員やサポーターが丁寧に聞き取りをしてくれました。そのおかげで、有事の際には情報を基に迅速な対応ができるため、作成して良かったと実感しています。また、地域の実情を知る民生委員・サポーターの存在がとても心強いと改めて感じました。今後は、各地区の総会時にケアネット活動の大切さや有事の際の行動について伝え続け、意識付けを図っていききたいと思います。



明和地区社協 事務局長

坂本 研資さん



民生委員をしていた経験から、以前からこの計画が必要だと感じていました。また、高齢化や人口減少が進む中、災害時だけでなく日頃から住民同士の支え合いであるケアネット活動やいのちのバトンなどの個別支援活動をさらに充実できると考えました。能登半島地震を経験し、防災への意識が高まっている今、多くの方の理解を得ながら作成できました。

今後は、要支援者・支援者を対象に、防災に関する知識や心構えを載せたチラシ配布を検討しています。地区社協も今まで以上に、自主防災会や自治会と日頃から連携し、地域の実情やケアネット活動などの情報共有を行っていきたいです。

明和地区の取り組みを取材して

明和地区では、個別避難計画の作成をきっかけに、日頃の支え合いの体制を見つめ直すことができてきたようです。「今回の地震でみんな怖い思いをしたが、この経験を活かす次につなげていきたい」とお2人は力強く話します。来年は計画を活用した防災訓練の実施を予定しており、より実践的な情報共有や安否確認、炊き出し訓練などさまざまなアイデアが出て、さらに充実しそうです。



◀ 来年の防災訓練について
意見を出し合う様子

※1 避難行動要支援者…介護が必要な高齢者、障害のある方、難病を患っている方、乳幼児、妊産婦、外国人など自ら避難することが難しい方が対象

※2 ケアネット活動…支援が必要なすべての人を対象に、隣近所の支え合いの延長線上で声かけや身の回りのちょっとしたサポートを地域住民がチームで行う活動





中高生がボランティアにチャレンジ!!

7月29日から8月31日までボランティア・チャレンジ・プログラム(通称V.C.P)を実施しました。令和元年以来5年ぶりの実施となった今年は、中学1年生から高校3年生までの計13名が高齢者施設や障害者施設、保育園や学童保育等合わせて18か所で参加者自身が希望するボランティア活動に挑戦しました。多くの参加者は、初めてのボランティア活動で楽しみ

と緊張のなか活動場所に向かいましたが、受け入れ担当者や利用者の方に温かく迎えられたことで、徐々に笑顔がみられました。8月18日に開催した活動後の振り返り会では、参加者が活動当初に立てた目標をお互いに振り返り、ボランティアを通して感じたことを報告しました。



一緒に手の運動!



次は何して遊ぶ?



おやつの時間です

参加者の声

- 障害者施設に行った際、帰り際に「話せて楽しかった。ありがとう。」と声をかけていただき、とてもやりがいを感じました。
- 人見知りなので最初のボランティア活動が本当に緊張したけど、頑張って自分からコミュニケーションをとることができました。
- 一人ひとりの個性を知り、その人に合ったコミュニケーションを心がけたことでボランティアの楽しさと喜びを見つけることができました。



グループごとに活動報告

受け入れ施設からの声

- こどもたちとすぐに仲良くなってこどもたちも嬉しそうでした。また保育園に来てください。(保育園より)
- 一緒に歌ったり、体操をしたりするなかで利用者さんがすごく元気になり、思い出に残る時間になりました。(高齢者施設より)
- 紙芝居や水遊びなど、子どもたちと楽しい時間を過ごしてくれて嬉しかったです。いろんなことにチャレンジして大きくなってください。(学童保育より)



地域子育てセンターのみなさん

V.C.Pで 新しい自分の発見!!

V.C.Pでは、普段の学校生活にはない体験をすることで新しい自分を見つけることができます。今回のボランティア活動の中で自分の将来の進路について考えた参加者もいました。今後も氷見市ボランティア総合センターでは、生徒や学生のボランティア活動を応援していきます。

Information 氷見市ボランティア総合センター

〒935-0011 氷見市中央町12-21(氷見市いきいき元気館内) TEL:74-1800 FAX:74-8055
受付時間 8:30~22:00(年末年始を除く) メール: himi-volunteer@himi-shakyo.jp



赤い羽根共同募金運動が始まります!



みなさまの募金が氷見市の福祉活動を支えています

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。

昨年度の氷見市の募金総額は、**5,525,177円**でした。ご協力ありがとうございました。

各世帯、学校、街頭等で集まった共同募金は、その約70%が市内の福祉活動団体に充てられます。また、残りの約30%は、県内の福祉施設や福祉活動、災害の被災者支援のためにも使われます。今年もみなさまのご理解とご協力をお願いします。

今年の募金は、来年度実施される下記の団体に配分されます

募金配分団体 (五十音順)	団体名	募金の配分で行う活動(予定)
	ひみ子育てネットワーク会議	地区子育てサークルへの講師派遣、クリスマス会
	氷見市更生保護女性会	更生保護施設入所者への食事支援、福祉施設訪問
	氷見市ことばの教室親の会	ことばの教室を利用する幼児を対象とした親子の集い
	氷見市児童クラブ連盟	児童クラブ卓球大会、ひみっ子ふれあいキャンプ
	氷見市社会福祉協議会	広報紙「ひみのふくし」発行、外出支援活動、子どもの自然体験教室
	氷見市身体障害者協会	協会視覚部とボランティアの交流会、介護者の研修会等
	氷見市手をつなぐ育成会	知的障害者の自立支援(親向け勉強会、ボランティアとの交流会)
	氷見市民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員、主任児童委員の研修会
	氷見保護司会	街頭広報活動、学校での犯罪予防啓発活動
	ムジカグラート氷見	介護施設での演奏と歌



児童クラブ連盟のふれあいキャンプ



街頭募金の様子

Information 氷見市共同募金委員会 〒935-0025 氷見市鞍川975 (氷見市社会福祉会館内)
TEL: 74-8407 FAX: 74-8409 受付時間 8:30~17:15

家族を介護する人をささえる

ホッとおしゃべりサロン

現在介護をしている皆さんのための「ホッとおしゃべりサロン」を毎月開催しています。介護経験のあるボランティアがゆっくりと話をうかがいます。シーツ交換のコツや上手なりフレッシュ方法など、どんな話題でもOK! 介護を受けているご家族や、お子さんを連れての参加も大歓迎です。ぜひお気軽にお越しください。

Information 氷見市ボランティア総合センター 〒935-0011 氷見市中央町12-21 (氷見市いきいき元気館内)
TEL: 74-1800 FAX: 74-8055 受付時間 8:30~22:00

開催日時・場所

令和6年 10月18日(金)・11月15日(金)・12月20日(金)

令和7年 1月17日(金)・2月21日(金)・3月21日(金)

■午前の部 時間:10:30~11:30

場所:ウエルシア氷見蓬店 店内ウエルカフェ(窪543-1)

■午後の部 時間:14:00~15:00

場所:氷見市いきいき元気館 ボランティアワークルーム



ご寄付をありがとうございます

令和6年8月1日~31日受入分(敬称略・受付順)

紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

【福祉基金】

匿名 10,001円

地域福祉の推進に活用させていただきます



【能登半島地震緊急支援募金】

日本将棋連盟

富山県支部連合会 80,000円

被災者支援に活用させていただきます



24時間テレビ チャリティー募金のご報告

8月22日(木)~9月1日(日)まで、多くの方にご協力いただいた24時間テレビチャリティー募金の現金総額は、**18,967円**でした。

このお金はすべて「公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会」へ送金しました。ご協力ありがとうございました。

市内実施会場 … 氷見市いきいき元気館

※8月31日(土)にハッピータウン氷見ショッピングセンター、プラファッションセンターで予定していた街頭募金は、台風10号接近のため、「24時間テレビキャッシュレス募金」のみの受付となりました。